

令和5年度 第4回千歳市公立大学法人評価委員会 議事要旨

1 日時 令和6年2月6日（火） 14時00分から14時40分まで

2 場所 千歳市役所庁議室

3 出席者

【委員】 委員長 馬場 直志
委員 小川 恭孝（オンラインで出席）
委員 福村 景範
委員 北村 茂樹
委員 千葉 崇晶

【千歳市】 企画部 大和部長 米澤次長
公立大学政策課 前田課長

4 傍聴者 1名

5 会議次第

- ・開会
- ・議題

- (1) 公立大学法人公立千歳科学技術大学 第1期中期目標期間終了時の検討及び措置（案）について
- (2) 令和6年度スケジュールについて
- (3) その他

- ・閉会

6 会議の概要

(1) 結果概要

第1期中期目標期間終了時の検討及び措置（案）について、方向性及び内容について概ね了承され、次のような意見が出された。

- ① 評価委員会の評価結果を踏まえた次期中期目標の策定を措置内容としているが、期待される事項として次の二点についても、中期目標に取り入れていただきたい。
 - ・半導体分野の人材育成だけでなく、情報工学分野の推進、発展にも期待する
 - ・コンプライアンスとガバナンスの行き届いた組織体制の整備
- ② 中期目標期間は6年間であるが、社会情勢の変化に合わせて修正するなど、柔軟な運用が望ましい。

また、令和6年度の評価スケジュールについて了承された。

(2) 議事概要

議題（1）公立大学法人公立千歳科学技術大学 第1期中期目標期間終了時の検討及び措置（案）について

事務局が内容を説明し、その後審議を行った。

【委員A】 中期目標の策定において、大学との協議は行われるのか。

【事務局】 市が一方的に目標を作成するわけにはいかないため、大学と相談をしながら作成し、

それについて評価委員の皆様にご意見をいただき、という形を考えている。

【委員 A】 それを踏まえて大学が中期計画を策定するのか。

【事務局】 そのとおりである。法律上、中期目標は市が作成し、それを大学に指示する、大学はその中期目標を達成するための中期計画を作成し、市がそれを認可する、という仕組みになっている。だが、中期目標を大学と相談をしながら作成していく中で、当然、大学ではその後どの様な計画を作成するのか、というのを検討しながら、同時並行で動いていくのではないかと考えている。

【委員 A】 中期目標の作成に大学が関与していないと、目標だけ示されても困るのではないかと考えて質問した。そこは市と大学で協議しながら作成するという事で理解した。

【委員 B】 「資料 1」 4 年目終了時評価の具体的事項に、半導体人材の育成に期待するという事が記載されているが、科技大は情報工学に力を入れていると聞いている。市としても、半導体と情報工学、この二本立てで、科技大が発展していけるような姿を描くのが良いのではないかと。市に貢献するという意味では、市と連携した何かシステムを作るとか、何かそのような、情報工学についても触れた方が良いのではないかと考える。科技大の方とラピダス進出について話をした際に、大学では情報工学に力を入れて進めていこうと考えていたという話を伺った。情報工学にも期待しているという事を入れてはどうかと考える。

また、今は、ガバナンスやコンプライアンスなど、厳しい目で見られている。当然やっていくことと思うが、コンプライアンスとガバナンスがちゃんと達成できるような組織、体制をしっかり整えて進めて行くという事も、期待される姿だと思う。

今申し上げたこの二つを、評価委員会として期待される事項に加えていただいて、中期目標に取り入れていただきたい。

【委員長】 今の話に関連して、昨年 9 月にラピダスの清水専務の講演会を聞いたが、その中で、ラピダスでは半導体関連の人材が欲しいという事ではなく、専門分野は色々な分野の人材が欲しいが、ただ、情報工学のバックグラウンドを有した人材が欲しい、という事を話していた。情報のことを知った上で、分野を問わず人材が欲しいという言い方をしていたので、情報関係は必須である。

【委員 A】 中期目標は 6 年間となっているが、6 年間は結構長い。その間、環境の変化、想定しないことは必ず起きると思うが、その変化をどう反映し、目標をどう見直すか、そのことについての考え方などは決まっているのか。今の中期目標を作成するときには、ラピダスの話はなかった。次期中期目標には半導体について記載していくと思うが、次の 6 年間の間に、ある程度重要な変化が生じた場合、見直すということは必要なのではないかと考える。

【事務局】 中期目標は 6 年間であるが、6 年間変更してはいけない、というものではない。委員が仰ったように、何か大きな変化があり、中期目標を組み立て直した方が良い、変更した方が良い、という場合には、当然、変更というのはいくらでもあり得ると思っている。

【委員長】 次期中期目標を作成する際、半導体産業が成功するのか、また、半導体にはシリコンサイクルがあり、谷の時期が来ることにより状況が変わることから、半導体関連の目標を立てる際には慎重な記載が求められる。

【委員 A】 会社では 3 年間の計画を立てるが、3 年でもガラッと環境が変わることがある。6 年だとかなり先で、見えないことが多いので、柔軟性を持って、方向性を補正しながら、目指す所に進んでいく、という運用が理想的なのではないかと思う。

【委員長】 では議題 1 に関しては、今委員から出た意見を反映していただくという事でよろしいでしょうか。

【各委員】 ～了解～

議題（２）令和６年度スケジュールについて

事務局がスケジュールを説明、質疑応答、意見はなく、了承される。

議題（３）その他

特になし